別添６

事　故　対　策　マ　ニ　ュ　ア　ル

１　事故に備えて
（１）　毎日、園内の巡回や遊具などの点検を励行する。
（２）　賠償責任保険に加入する。

２　事故発生時
（１）　応急救護措置を行ない、必要に応じて救急車を要請する。
（２）　事故処理を行なう。
（３）　現場写真の撮影を行なう。
（４）　目撃者から事故状況の聴取を行なう。
（５）　事故調書、報告書を作成する。
（６）　公園管理責任者に対して事故報告を行なう。
（７）　場合によっては被害者に対する見舞いを行なう。
　　事故見舞金の支出が発生する場合にはその手続きを行なう。

３　事故報告内容
（１）　事故発生の日時、場所
（２）　事故状況、原因
（３）　被害者との話し合いの状況

４　被害者より損害賠償の請求を受けた場合
（１）　過去の判例、事故例、法律等を参照し、損害賠償する責任があるかないか、責任があるとすれば、妥当な賠償額を判断する。場合によっては、専門家の意見を聴き対応する。
（２）　保険会社に連絡を取り協議する。

救　急　対　策

１　救急事態が発生した場合には医療機関の協力を仰ぐ。

２　救急医療機関や休日当番病院を日頃から把握しておく。

３　救急薬品を用意し、職員の応急救護措置の知識を講習会等により取得しておく。

４　事務所のわかりやすいところに、当日の救急病院を明示しておく。

予　防　対　策

１　日常点検が安全危機管理と深く関連しているという意識を職員が強く持ち、常日頃から施設の異常事態や不審者に注意する。

別添７

十勝エコロジーパーク不審者対応マニュアル

１.エコロジーパークの出入り口開閉及び時間

正門　①夏期時間（4 月下旬～11 月初旬）

午前 6 時～午後 7 時　（リモコン操作・午後 7 時～午後 10 時）

②その他の期間

午前 9 時～午後 5 時 30 分

・ビジターセンター　午前 9 時から午後 5 時

・コテッジ入り口ゲート　リモコン操作

・キャンプ場入り口ゲート　リモコン操作

・ととろーど・自転車レンタル　午前 9 時～午後 5 時（4 月 29 日～10 月末）

（11 月は、午前 9 時 30 分～午後 4 時）

２.対策体制

防犯責任者	管理事務所長 [redacted]
副防犯責任者	業務主任 [redacted]
副防犯責任者	企 画 主 事 [redacted]

３.鍵の管理

①　出入り口施設の鍵は、職員が各自責任により管理する

②　事務所で保管している鍵は、使用後「キーボックス」に必ず返却する

③　閉鎖個所、関係者以外立ち入り禁止場所は鍵を掛ける

４.園内の点検

①　日中　午前 8 時 30 分から午後 5 時 30 分までに定期点検を兼ね 3 回巡視を行う

②　夜間　午後 5 時 30 分から午前 8 時 30 分までに 3 回以上の巡視を行う

③　その他　不定期に巡回を実施する

５.来園者等の確認

①　利用者に挨拶と声かけを積極的に行う

②　テレビカメラ等により不審者や不審車の監視を行う

③　園内の巡回を行う

④　園内の案内や作業中においても監視・確認を行う

６.不審者対応

不審者や不審物を発見及び来園者からの通報があった場合、状況確認を行う

①　不審者らしき者を見かけた場合、在所の防犯責任者に報告する

②　出勤者全員に周知し連絡体制をとる

③　不審行動者・不審物などの状況確認を 2 名体制で行う

④　不審物を発見した場合、来園者への避難の呼びかけとともに安全が確認できるまで、立ち入りの制限を行う

⑤　不審者については、監視を続けるとともに帯広警察署又は十勝川温泉駐在所に通報と協力を要請する

7.その他

年 1 回　帯広警察署に要請し「不審者・不審物対応講習会」を開催する

別添８

一般財団法人十勝エコロジーパーク財団災害対策要綱

(目的)
第１条　この要綱は、北海道に提出する年度事業計画における「安全機器対策」に定めがあるもののほか、災害に対応するための非常配備態勢について定めることを目的とする。

(非常配備態勢の基準)
第２条　専務理事は、次のいずれかに該当し災害が発生し、又は発生する恐れがある場合、非常配備態勢を指示するものとする。
（１）　暴風、暴風雪、大雨、大雪又は洪水警報が発表され、甚大な被害をもたらす災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき。
（２）　十勝川について、氾濫注意水位に達し、又は恐れがあるとき。
（３）　震度４以上の地震が発生したとき。
（４）　震度４未満であっても、地域的に災害対策を要する被害が発生し、又は発生の恐れがあるとき。
（５）　その他、施設に重大な影響を及ぼす災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき。
２　非常配備態勢の種類と基準は、別表１のとおりとする。
３　管理事務所長は、非常配備の職員の招集に備えて、その連絡系統を明らかにしておかなければならない。

(災害情報連絡責任者)
第３条　災害に関する情報等の収集および受理、災害又は被害の状況、被害現場、避難所等の応急対策実施状況、その他必要な災害情報を逐次とりまとめ、管理事務所長に伝達するため、情報連絡責任者を置く。
２　情報連絡責任者は業務主任とする。
３　管理事務所長は災害情報により、災害の発生の恐れが予測されるときは、必要な措置を講ずるものとする。

(休日の連絡方法)
第４条　職員は、休日又は勤務時間外において気象の異常な警報若しくは情報又は災害情報等を取得したときは、自ら連絡を取り指示を受けなければならない。

(委任)
第５条　この要綱に定めるもののほか、災害対策に関し必要な事項は、理事長が別に定める。

(附則)
この要綱は、平成 22 年 10 月 1 日から施行する。
この要綱は、平成 25 年 6 月 29 日から施行する。
この要綱は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

非常配備態勢の種類と配置基準

ア　水害、一般災害関係(地震災害を除く。)

(ア)　第１次注意態勢

配置基準	気象業務法に基づく気象、地震及び水象に関する情報又は警報を受けたとき。
配備態勢	業務主任（情報連絡責任者）
活動内容	気象、地象及び水象に関する情報の収集を図り、必要に応じ管理事務所長に状況報告する。

(イ)　第２次注意態勢

配置基準	(1)　警報発令状態が継続され、又は関係情報が発表される状況であるとき。 (2)　今後災害が発生する恐れがあり、警戒及び災害対策に備える必要があるとき。
配備態勢	(1)　管理事務所長、業務主任（草刈班）、企画主事、業務助手（施設管理） (2)　その他の職員は自宅待機とする。
活動内容	(1)　管理事務所長は、気象、地象及び水象に関する情報及び災害状況の収集を図るとともに、北海道及び関係機関との情報連絡に当たる。 (2)　管理事務所長は、職員に対し、巡回、軽微な応急活動や流失する恐れのある備品等の回収など、必要な指示を行う。

(ウ)　第１種非常配備態勢

配置基準	(1)　局地的に災害が発生し、初期の災害対策を実施する必要があるとき。 (2)　今後更に被害が増加する恐れがあるとき。
配備態勢	(1)　第２次注意態勢に係る配備職員及び総務主任、学習指導員を招集する。 (2)　事態の推移に伴い、速やかに第２種非常体制に移行できる態勢とする。 (3)　その他の職員に対し自宅待機を指示する。
活動内容	(1)　管理事務所長は、次の措置をとるとともに、情報の収集及び連絡体制を強化する。 （ア）　災害の状況について職員に周知させ、所要の人員を非常配備につかせる。 （イ）　装備、物資、機材、機械等を点検し、必要に応じ被害現地又は被災予想地へ配備するものとする。 （ウ）　災害対策に関係ある協力機関及び住民との連絡を密にし、協力体制を強化する。

(エ)　第２種非常配備態勢

配置基準	相当規模の災害が発生したとき、又は発生の恐れがあるとき。
配備態勢	管理事務所長は、第１種非常配備職員及び、ととろーど業務助手、園内管理業務助手を招集し、直ちに災害対策の実施に当たる。
活動内容	(1)　管理事務所長は、次の措置をとるとともに、情報の収集及び連絡体制を強化する。 （ア）　災害の現況について職員に周知するとともに、所要の人員を非常配備につかせる。 （イ）　装備、物資、機材、機械等を点検し、必要に応じ被害現地又は被災予想地へ配備するものとする。 （ウ）災害対策に関係ある協力機関及び住民との連絡を密にし、協力体制を強化する。

（オ）　第３種非常配備態勢

配置基準	全域にわたり甚大な被害をもたらす災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき。
配備態勢	(1)　所属職員全員(臨時職員含む。)を招集する。 (2)　状況に応じ、支援活動団体の支援について要請する。
活動内容	全職員は、災害応急対策を全力もって傾注する。

イ　地震災害関係

（ア）　震災第１種非常配備態勢

配置基準	(1)　震度４の地震が発生し、又は発生の恐れがあるとき。 (2)　被害は軽微と見込まれるが、施設の点検が必要と認められるとき。
配備態勢	管理事務所長、業務主任（園内作業班）
活動内容	(1)　管理事務所長は、地震に関する情報の収集を図り、必要に応じ上司に状況報告を行う。 (2)　被害状況に応じ、職員を招集し、応急措置及び対策に当たる。

（イ）　震災第２種非常配備態勢

配置基準	(1)　震度５弱又は震度５強の地震が発生し、又は発生する恐れがあるとき。 (2)　施設全般あるいは部分的に大きな被害をもたらす災害が発生し、又は発生する恐れがあるとき。
配備態勢	(1)　第１種非常配備職員に加え、総務主任、企画主事、学習指導員、業務助手、魚道観察室看視員（任用期間中に限る）は速やかに参集し、情報連絡及び被害状況の収集に当たる。 (2)　被害の状況により、第３種非常配備態勢に移行できる態勢とする。
活動内容	(1)　速やかに施設全般の被害状況調査、収集、連絡活動及び応急対策に当たる。 (2)　関係機関との情報連絡にあたる。

（ウ）　震災第３種非常配備態勢

配置基準	(1)　震度６弱以上の地震が発生し、又は発生する恐れがあるとき。 (2)　施設全般にわたり甚大な被害が発生し、又は予想されるとき。
配備態勢	(1)　所属職員全員(臨時職員含む。)を招集する。 (2)　状況に応じ、支援活動団体の支援について要請する。
活動内容	(1)　速やかに施設全般の被害状況調査、収集、連絡活動及び応急対策に当たる。 (2)　関係機関との情報連絡にあたる。

十勝エコロジーパーク財団

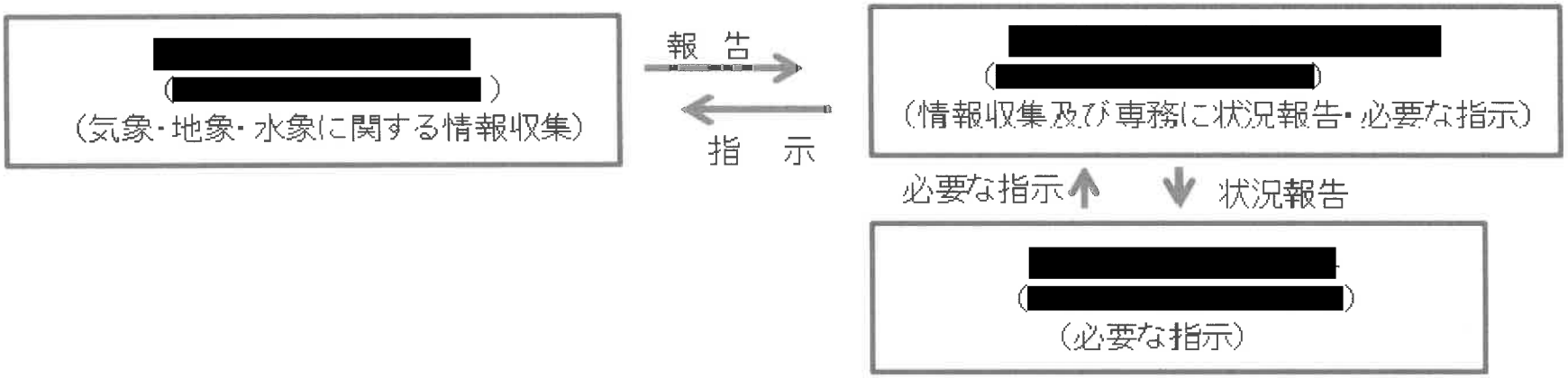
災害対策マニュアル

災害時の対応

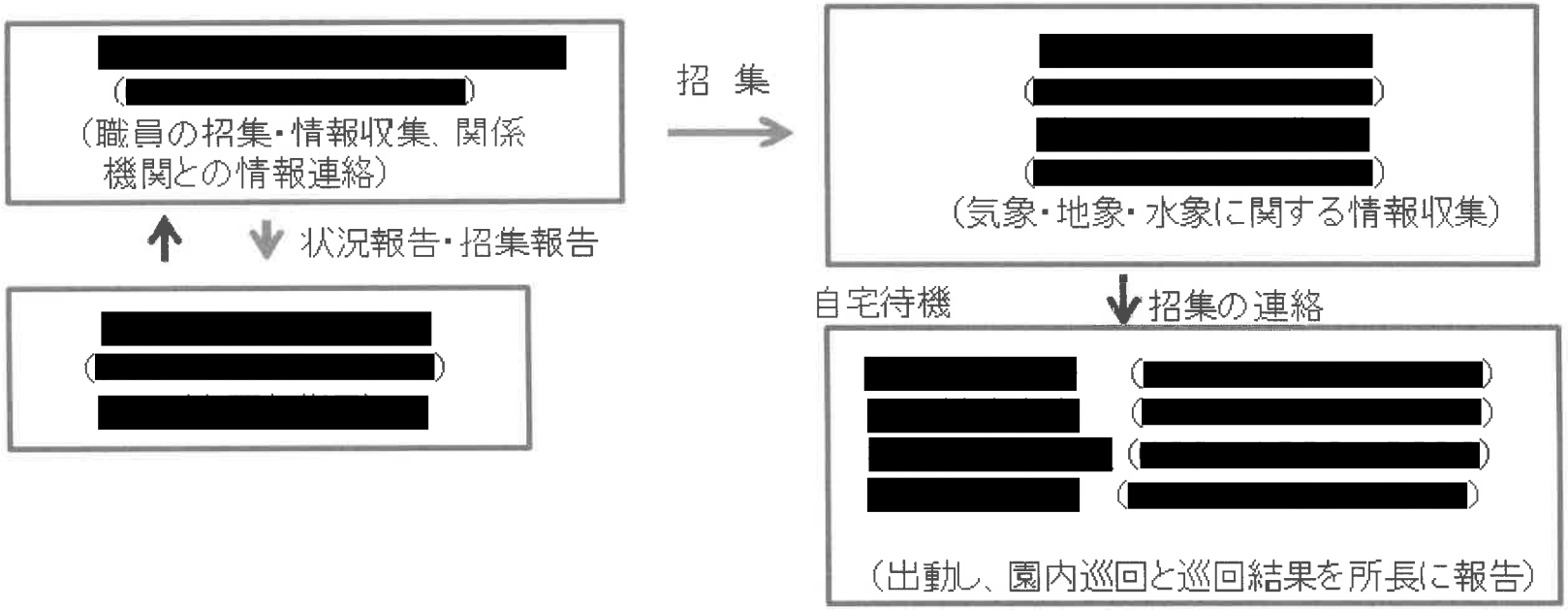
令和7年7月

ア　水害、一般災害関係の情報収集・職員参集体制

(ア)第1次注意態勢(気象・地象・水象情報・警報発令があったとき)



(イ)第2次注意態勢(警報発令状態が継続、また、関係情報が発表されている場合)



(ウ)第1種非常配備体制(局地的な災害発生など、初期の災害対策が必要な場合及び被害の増加が予想)

[redacted]
([redacted])
(災害状況の把握、所要職員の招集指示、装備、物資、機材、機械などの点検と配備を指示。協力機関との連携、住民への連絡)

指　示

[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]は配置に着く(非常配備に必要な職員を招集するとともに、災害時資機材を点検する。また、事務所長の指示を受け、関係機関などとの連絡を行う。)

第2次非常体制の招集準備

夏季間は、[redacted]
([redacted])に自宅待機を指示

(エ)第2種非常配備態勢(相当規模の災害発生又は発生の恐れがある。)

[redacted]
(所要職員の招集、災害状況を出動した職員に周知し、資機材などの点検と必要に応じ被害現地又は被災予想地に配備する。また、関係機関への災害状況報告及び協力機関・住民との連絡)

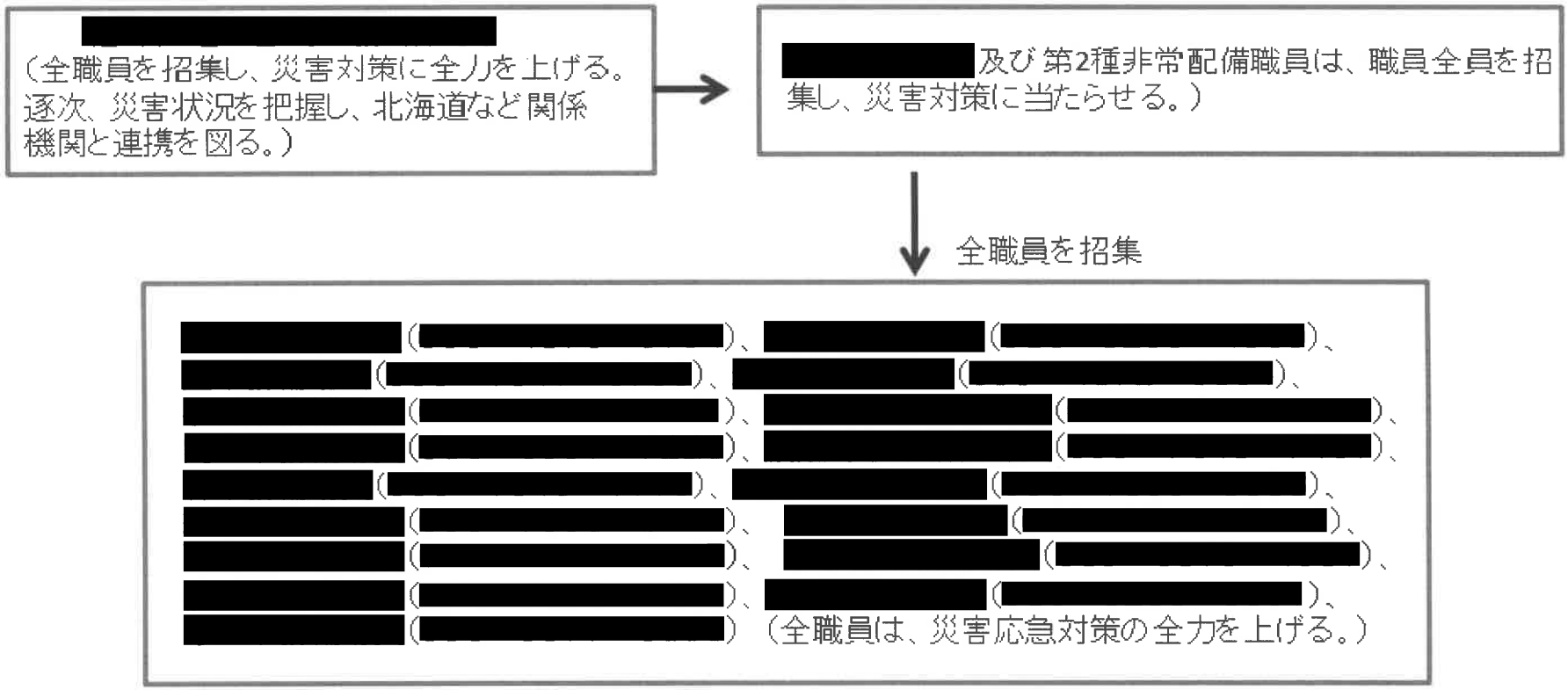
指示

[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]は参集し、配置に着く。(情報収集、資機材の点検・配備、3種態勢への移行準備)

招集準備

第3種非常配備態勢に備え職員全員(臨時職員を含む)の自宅待機と出動準備を指示する

(オ)第3種非常配備態勢(全域にわたり甚大な被害が発生し、又は発生する恐れがある。)



イ　地震災害関係

（ア）震災第1種非常配備態勢（震度4の地震が発生）

[redacted]
（[redacted]）
（地震に関する情報を収集し、必要に応じ専務理事に状況報告する。被害状況に応じ必要な職員を招集し、応急対策に当たる。）

必要に応じ招集

[redacted]（[redacted]）
（招集後、被害状況の把握、応急対策）

必要に応じ報告

[redacted]
（[redacted]）

（イ）震災第2種非常配備態勢（震度5弱又は震度5強の地震が発生）

[redacted]
（施設の被害状況などを把握し、必要に応じ関係機関に状況報告する。）

必要に応じ報告

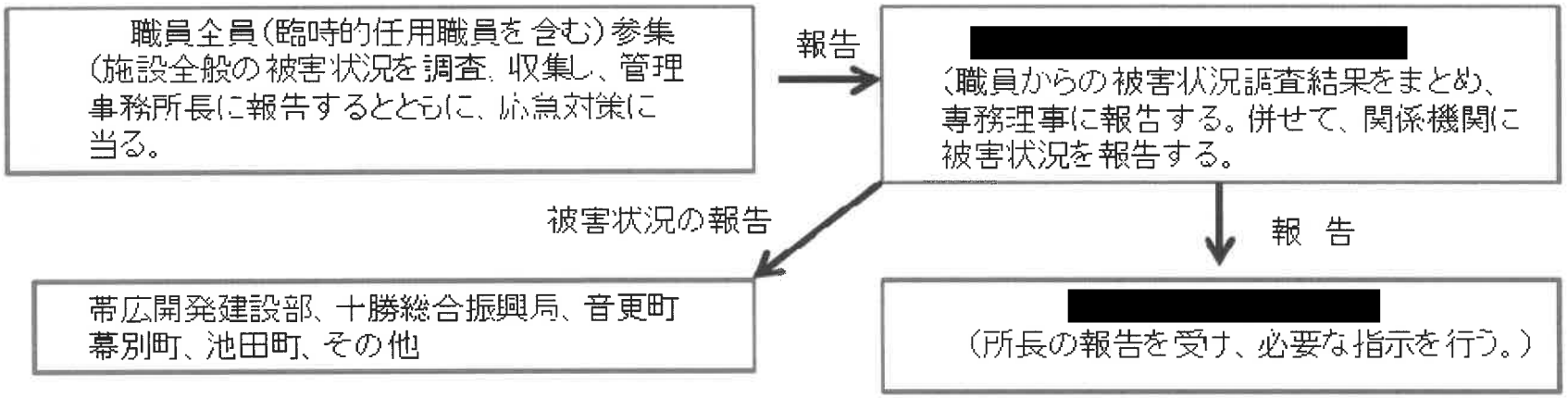
帯広開発建設部、北海道十勝総合振興局、音更町、幕別町、池田町

職員（[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]、[redacted]）は、速やかに参集し、被害状況を把握

被害状況報告

職員は、施設などの被害状況を調査し、事務所長に報告するとともに、応急対策を講じる。

(ウ)震災第3種非常配備態勢(震度6弱以上の地震が発生)



注:水害、地震によって道路、橋の交通規制が予想され、通常ルートが通行止めになる、とが予想されるので、交通情報を十分に把握し、速やかな参集に努めること。

VI地域連携

Ⅵ地域連携

地域住民との協働による公園づくりをすすめます。

北海道立十勝エコロジーパークの供用開始以前から、ボランティアの組織化を図り、公園づくりや運営活動の指導者育成に努めてきました。
施設の維持管理、花畑の管理、園内清掃、イベントの実施、体験活動事業等における指導・ガイド、音楽コンサートの開催、樹林の管理など、多岐にわたり、ボランティア活動に参加いただいています。
さらに、地元十勝川温泉とは、一体となった連携事業に取り組んでいます。
今後も地域住民に愛され、親しまれる公園づくりのため、ボランティアや十勝川温泉、市町村等との一層の連携を強め、地域の財産として、かつ、観光拠点として魅力ある公園づくりに取り組んでいきます。

1. 地域住民との協働活動

協働の計画	実施内容	具体的な効果
エコパ蕎麦まつり事業	十勝管内のそば打ち同好会によるロングランイベント	産消協働の促進 住民参加による生涯学習の一環
十勝川温泉との協働事業		
①ホテル宿泊者の利用促進	宿泊者へのＰＲ、リーフレットの備え置き	相互の情報提供
②ガーデンスパ十勝川温泉	商品及び利用等の広報ＰＲ相互利用割引	地産地消、利用促進の推進
③フットパスウォーキング	公園内と周辺のフットパスを散策	健康増進、利用促進、自然保護思想の普及
④ウインターフェスinエコパ	温泉宿泊者の利用を含めた冬のイベント	協働による一体感の醸成、冬の遊びの提案、健康増進、自然保全

2. 地域のボランティア組織の育成や参加・連携を進めます。

行　事　名　等	活　動　内　容	期待される効果
自然観察会・体験会	自然観察会や体験会の指導者・コーディネーター	専門知識により、教育効果が得られる
第1四半期 4月17日　　1人　サケの人工飼育指導 4月30日　　1人　サケの人工飼育指導 4月30日　　1人　サケの稚魚放流 第3四半期 11月1日　　1人　サケの人工授精指導 12月10日　1人　サケの人工飼育指導 12月26日　1人　サケの人工飼育指導 第4四半期 1月23日　　1人　サケの人工飼育指導 3月6日　　1人　サケの人工飼育指導 3月27日　　1人　サケの人工飼育指導		
工作などものづくり	工作教室の指導、農業指導等	ものづくりを通した理科教育
森づくり、環境整備	エコロジーパークの理念を発展することを目的に環境育成や自然体験活動の支援、園内森林の間伐、清掃、柳のトンネルづくり	環境保全や環境育成などの充実
第1四半期 4月12日　98人　クリーンアップ作戦　各団体		
花壇造成・維持管理	花壇整備・管理、施設の修繕など	公園の彩ややすらぎの空間形成
第1四半期 4月12日　6人　花壇整備（春の花） 7月1日　　7人　花壇整備（夏の花）		
アウトドア指導者	アウトドア体験会などの指導	公園でできるアウトドアの普及
第1四半期 5月3日～5月5日　32人　モンキーブリッジ設営管理　ボーイスカウト帯広第4団		
コンサート出演	地元のアーティストで、音楽イベントを実施	公園の知名度アップや子供から大人までの集客が期待される
第1四半期 4月19日　2人　クニさん歌の広場 5月31日　2人　クニさん歌の広場 6月21日　2人　クニさん歌の広場～夏至のコンサート～ 6月22日　20人　アロハの森フラステージ 第2四半期 7月19日　2人　クニさん歌の広場 8月10日　8人　アップルライブ 8月23日　2人　クニさん歌の広場 9月20日　3人　クニさん歌の広場 9月28日　46人　エコパサウンドピクニック 第3四半期 10月18日　2人　クニさん歌の広場 11月2日　3人　夏ありがとうフェスタ 11月15日　2人　クニさん歌の広場 12月20日　2人　クニさん歌の広場 第4四半期 1月17日　2人　クニさん歌の広場 2月21日　2人　クニさん歌の広場		

3月14日　2人　クニさん歌の広場 3月15日　21人　メロディキッズコンサート		
障がい児（者）のイベント手伝い	障がい者の自立支援施設の職員と利用者で、イベントへの参加とイベント運営	障害者の自立支援
4月12日　6人　花壇整備（就労継続支援B型事務所）		
託児	託児などのボランティア	子育てママの社会参加や　休息の確保
サバイバルキャンプの指導	自然体験活動や自然の中での遊びの企画・実施、指導	自然界で生き抜く力や知恵の習得
第1四半期 5月17日・18日　20人　ボーイスカウト体験隊「春のキャンプ」 第2四半期 7月26日・27日　20人　ボーイスカウト体験隊「夏のキャンプ」 第3四半期 10月11日・12日12人 ボーイスカウト体験隊「秋のキャンプ」 第4四半期 1月17日・18日　8人　ボーイスカウト体験隊「冬のキャンプ」		
公園の環境調査等	関係機関への要望活動、公園の支援、自然保護思想の啓発、タンチョウヅルの生息環境の調査や給餌台の設置、サケの遡上状況調査	公園の魅力付けや公園の自然変化を経年的にデーター蓄積し、今後の活動に活用 十勝エコロジーパーク生物出現種目録の作成
蕎麦まつり	管内のそばづくり同好会の参加による手打ちそばの提供	地産地消の普及
第1四半期　5月4日、6月15日　第2四半期　7月20日、8月17日、9月21日 第3四半期　10月12日		

①	公園内でボランティア募集の周知を行いました。
②	ホームページなどで募集しました。
③	自然体験会やイベント参加者などにボランティアの勧誘を行いました。
④	職員の人脈ネットワークを生かし、アーティストや指導者をはじめ、奉仕団体、サークル団体などに参加を勧誘しました。
⑤	ボランティア参加希望者に必要な研修・講習会を実施しました。
⑥	来園者からの情報があれば、連絡しました。
⑦	管内アーティストにボランティア出演の協力を依頼しました。

3. 地元企業の社会貢献事業の実施

①	施設の老朽化や適切な維持のため、建設関係企業に、社会貢献事業として、小修繕等を依頼していきました。

4. 管理の目標を達成するための計画

単位：人

ボランティア事業名	年　度	R4	R5	R6	R7	R8
	指標値	900	900	900	900	900
自然観察会・体験会の指導講師等		80	80	80	80	80
花壇造成・維持管理		60	60	60	60	60
園内の清掃・施設修繕ボランティア		100	100	100	100	100
イベントの実施・お手伝い		100	100	100	100	100
音楽イベント参加アーティスト		200	200	200	200	200
工作・ものづくり指導者		50	50	50	50	50
園内の植樹・育樹事業		100	100	100	100	100
アウトドア・サバイバルキャンプ指導		100	100	100	100	100
そばまつり		100	100	100	100	100
託児協力		10	10	10	10	10
合　　計		900	900	900	900	900

●管理の目標を達成するための実績（単位:人）

ボランティア事業名	第1	第2	第3	第4	合　計
自然観察会・体験会の指導講師等	2	0	2	3	7
花壇造成・維持管理	6	7	0	0	13
園内の清掃・施設修繕ボランティア	98	0	13	0	111
イベントの実施・お手伝い	44	0	28	149	221
音楽イベント参加アーティスト	6	80	9	29	124
工作・ものづくり指導者	3	23	5	4	35
園内の植樹・育樹事業	0	0	0	0	0
アウトドア・サバイバルキャンプ指導	52	20	28	12	112
そばまつり	35	51	21	0	107
託児協力	0	0	0	0	0
その他	22	4	2	2	30
合　　計	268	185	108	199	760

●管理の目標を達成するための実績
（単位:時間）

ボランティア事業名	第1	第2	第3	第4	合　計
自然観察会・体験会の指導講師等	3	0	3	3	9
花壇造成・維持管理	9	7	0	0	16
園内の清掃・施設修繕ボランティア	147	0	62.5	0	209.5
イベントの実施・お手伝い	204.5	0	96.5	820	1121
音楽イベント参加アーティスト	6	80	9	48	143
工作・ものづくり指導者	18	108	30	25	181
園内の植樹・育樹事業	0	0	0	0	0
アウトドア・サバイバルキャンプ指導	327	178	210	96	811
そばまつり	248	353.5	145.5	0	747
託児協力	0	0	0	0	0
その他	68	10	6	4	88
合　　計	1030.5	736.5	562.5	996	3325.5

5. 地域の一員として活動します。

①	公園は、音更地域を拠点としており、地域団体である ①音更商工会 ②音更町十勝川温泉観光協会 に加入し、地域とのつながりを強め、地域の一員として活動しました。

3. 利用者人数の目標について

●利用者人数の目標

単位：人

		令和4年度		令和5年度		令和6年度		小　計 （令和4-6年度）	
一般来園者			179, 500		182, 300		184, 700		546, 500
オート	キャンプ場	7, 800	4, 800	7, 800	4, 800	7, 800	4, 800	23, 400	14, 400
キャンプ場	コテッジ		3, 000		3, 000		3, 000		9, 000
レンタル自転車利用者			3, 500		3, 500		3, 500		10, 500
利用促進	自然観察会	51, 200	1, 200	51, 200	1, 200	51, 200	1, 200	153, 600	3, 600
	集客イベント		50, 000		50, 000		50, 000		150, 000
合　　計			242, 000		244, 800		247, 200		734, 000

		令和7年度		令和8年度		小　計 （令和7. 8年度）		合　計 （5ヶ年分）	
一般来園者			187, 200		189, 700		376, 900		923, 400
オート	キャンプ場	7, 800	4, 800	7, 800	4, 800	15, 600	9, 600	39, 000	24, 000
キャンプ場	コテッジ		3, 000		3, 000		6, 000		15, 000
レンタル自転車利用者			3, 500		3, 500		7, 000		17, 500
利用促進	自然観察会	51, 200	1, 200	51, 200	1, 200	102, 400	2, 400	256, 000	6, 000
	集客イベント		50, 000		50, 000		100, 000		250, 000
合　　計			249, 700		252, 200		501, 900		1, 235, 900

●令和７年度

第1四半期		4月		5月		6月		小計	
一般来園者			8, 900		11, 973		17, 421		38, 294
オート	キャンプ場	95	6	960	718	988	735	2, 043	1459
キャンプ場	コテッジ		89		242		253		584
レンタル自転車利用者			80		358		213		651
利用促進	自然観察会	1, 324	49	10, 428	12	9, 516	44	21, 268	105
	集客イベント		1, 275		10, 416		9, 472		21, 163
合　　計			10, 399		23, 719		28, 138		62, 256

第2四半期		7月		8月		9月		小計	
一般来園者			15, 384		14, 801		12, 295		42, 480
オート	キャンプ場	1, 828	1, 281	3, 357	2, 274	1, 076	687	6, 261	4, 242
キャンプ場	コテッジ		547		1, 083		389		2, 019
レンタル自転車利用者			284		603		183		1, 070
利用促進	自然観察会	4, 749	25	12, 548	102	9, 044	25	26, 341	152
	集客イベント		4, 724		12, 446		9, 019		26, 189
合　　計			22, 245		31, 309		22, 598		76, 152

第3四半期		10月		11月		12月		小計	
一般来園者			10,979		5,523		4,615		21,117
オート	キャンプ場	635	356	239	0	0	0	874	356
キャンプ場	コテッジ		279		239		0		518
レンタル自転車利用者			116		17		0		133
利用促進	自然観察会	14,106	20	1,409	17	712	30	16,227	67
	集客イベント		14,086		1,392		682		16,160
合　　計			25,836		7,188		5,327		38,351

第4四半期		1月		2月		3月		小計	
一般来園者			10,544		7,244		6,130		23,918
オート	キャンプ場	0	0	0	0	0	0	0	0
キャンプ場	コテッジ		0		0		0		0
レンタル自転車利用者			0		0		0		0
利用促進	自然観察会	1,638	62	6,162	26	1,006	0	8,806	88
	集客イベント		1,576		6,136		1,006		8,718
合　　計			12,182		13,406		7,136		32,724

		目標		令和7年度	
一般来園者			187,200		125,809
オート	キャンプ場	7,800	4,800	9,178	6,057
キャンプ場	コテッジ		3,000		3,121
レンタル自転車利用者			3,500		1,854
利用促進	自然観察会	51,200	1,200	72,642	412
	集客イベント		50,000		72,230
合　　計			249,700		209,483

◇2025. 4-2026. 3◇第3四半期

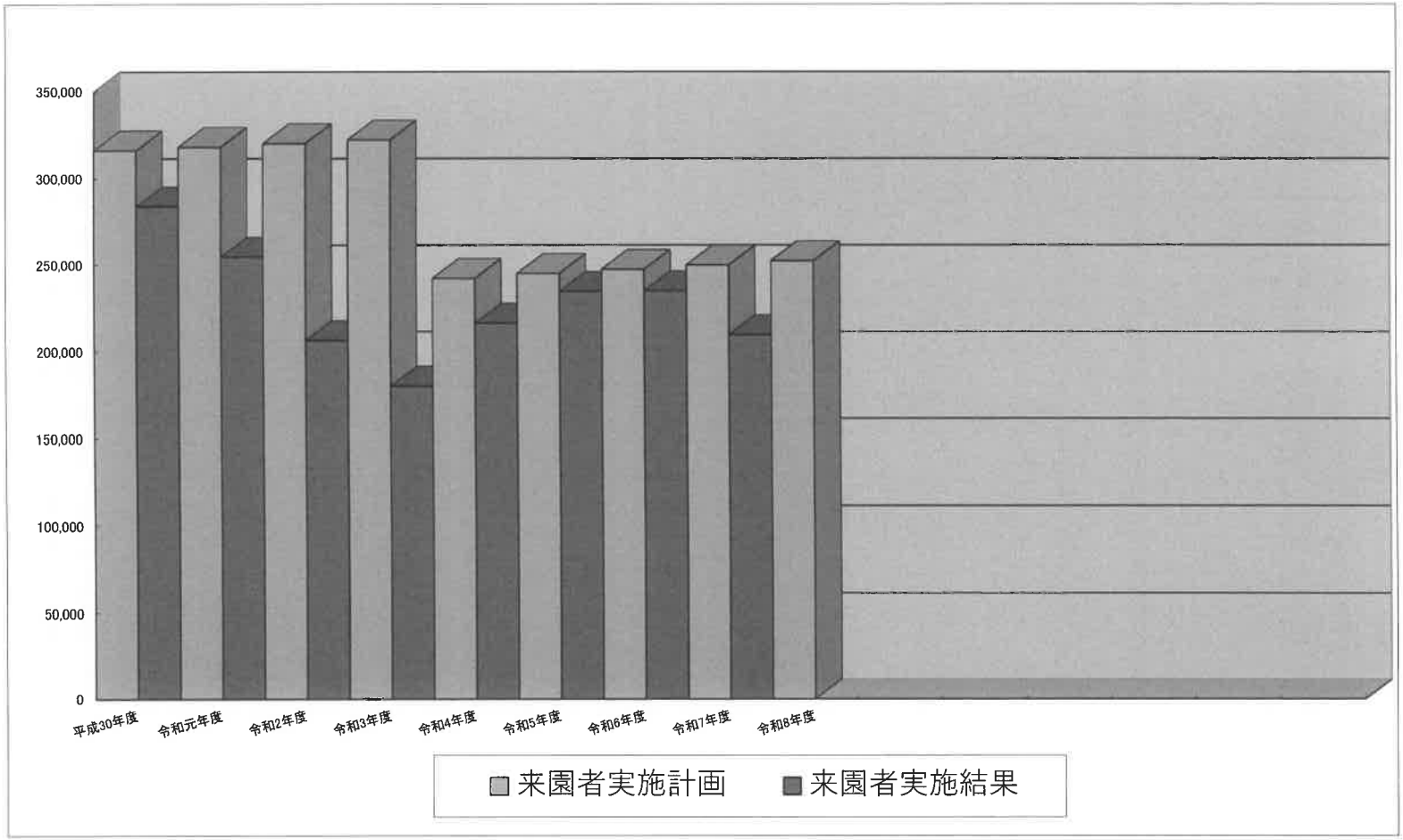
管理の目標達成状況（2025年-2026年）

	達成目標及び業績指標	2025年目標値(人)	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	累計
利用促進	公園利用者数の増員	年間 249,700 人	62,256 人	76,152 人	38,351 人	32,724 人	209,483 人
	(達成率=利用者数÷利用者数目標値(人))	達成率	24.9%	30.5%	15.4%	13.1%	83.9%
	有料施設関係【キャンプ・コテッジ】	年間 7,800 人	2,043 人	6,261 人	874 人	0 人	9,178 人
	(達成率=利用者数÷利用者数目標値(人))	達成率	26.2%	80.3%	11.2%	0.0%	117.7%
	有料施設関係【キャンプ場 プライベートサイト(30)】	年間 1,072 サイト	350 サイト	762 サイト	99 サイト	0 サイト	1,211 サイト
	(達成率=R7利用数÷R7利用目標値(サイト))	達成率	32.6%	71.1%	9.2%	0.0%	113.0%
	有料施設関係【キャンプ場 フリーサイト(70)】	年間 977 サイト	218 サイト	698 サイト	54 サイト	0 サイト	970 サイト
	(達成率=利用数÷利用目標値(サイト))	達成率	22.3%	71.4%	5.5%	0.0%	99.3%
	有料施設関係【キャンプ場 Dキャンプ】	年間 27 サイト	19 サイト	16 サイト	5 サイト	0 サイト	40 サイト
	(達成率=利用数÷利用目標値(サイト))	達成率	70.4%	59.3%	18.5%	0.0%	148.1%
	有料施設関係【コテッジ 10棟】	年間 551 棟	112 棟	373 棟	108 棟	0 棟	593 棟
	(達成率=利用数÷利用目標値(棟))	達成率	20.3%	67.7%	19.6%	0.0%	107.6%
	有料施設関係【自転車】	年間 3,500 人	651 人	1,070 人	133 人	0 人	1,854 人
	(達成率=利用数÷利用目標値(人))	達成率	18.6%	30.6%	3.8%	0.0%	53.0%
	自主企画事業参加者数	年間 51,200 人	21,268 人	26,341 人	16,227 人	8,806 人	72,642 人
	(進捗率=参加者数÷参加者数目標値(人))	達成率	41.5%	51.4%	31.7%	17.2%	141.9%
安全・快適な利用環境	安全性の確保	年間 0 件以下	0 件	0 件	0 件	0 件	0 件
	(進捗率=事故件数÷事故件数目標値)	達成率	0.0%	0.0%	0.0%	#DIV/0!	#DIV/0!
	職員資質の向上 （有識者研修）	年間 1 回	1 回	0 回	0 回	0 回	1 回
	(進捗率=実施回数÷研修開催目標値(回))	達成率	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%
	職員資質の向上 （自主研修）	年間 5 回	0 回	1 回	1 回	1 回	3 回
	(進捗率=実施回数÷研修開催目標値(回))	達成率	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	60.0%
	職員資質の向上 （職場外研修）	年間 1 回	0 回	0 回	1 回	0 回	1 回
	(達成率=参加者数÷参加者数目標値(回))	達成率	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%
住民との協働推進	公園業務に対する地域住民との協働推進	年間 900 人	268 人	185 人	108 人	199 人	760 人
	(達成率=参加者数÷参加者数目標値(人))	達成率	29.8%	20.6%	12.0%	22.1%	84.4%

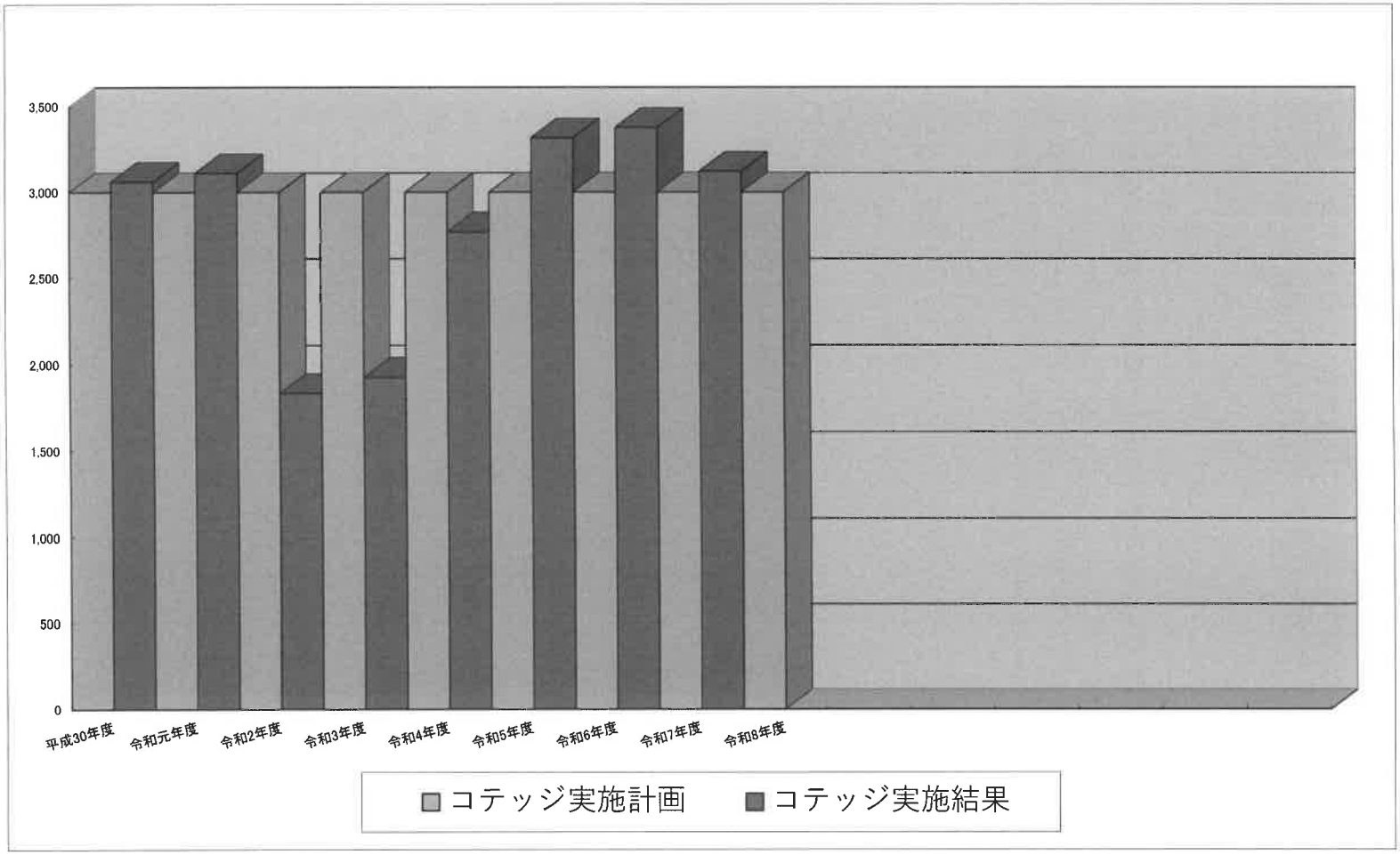
VI地域連携
5. 管理の目標を達成するための計画及び実績

年度別	来園者実施計画	来園者実施結果
平成30年度	316,000	283,725
令和元年度	318,000	254,451
令和2年度	320,000	206,248
令和3年度	322,000	179,882
令和4年度	242,000	216,185
令和5年度	244,800	234,481
令和6年度	247,200	234,801
令和7年度	249,700	209,483
令和8年度	252,200	
合計	2,511,900	1,819,256

指定管理期間		
年度	来園者実施計画	来園者実施結果
令和4年度	242,000	216,185
令和5年度	244,800	234,481
令和6年度	247,200	234,801
令和7年度	249,700	209,483
令和8年度	252,200	0
合計	1,235,900	894,950



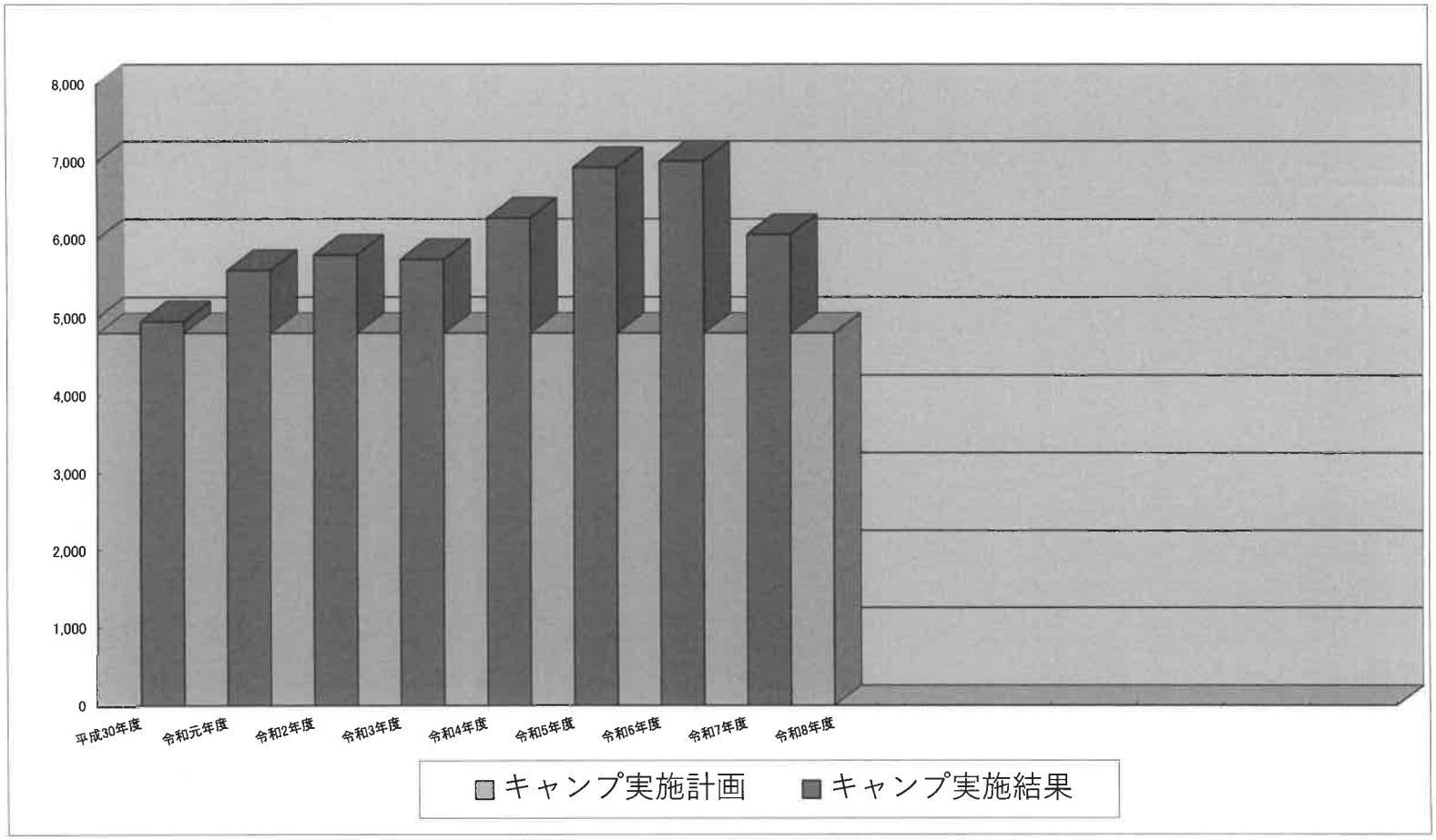
年度別	コテッジ実施計画	コテッジ実施結果
平成30年度	3,000	3,062
令和元年度	3,000	3,112
令和2年度	3,000	1,837
令和3年度	3,000	1,929
令和4年度	3,000	2,769
令和5年度	3,000	3,316
令和6年度	3,000	3,376
令和7年度	3,000	3,121
令和8年度	3,000	
合計	27,000	22,522



指定管理期間		
年度	コテッジ実施計画	コテッジ実施結果
令和4年度	3,000	2,769
令和5年度	3,000	3,316
令和6年度	3,000	3,376
令和7年度	3,000	3,121
令和8年度	3,000	0
合計	15,000	12,582

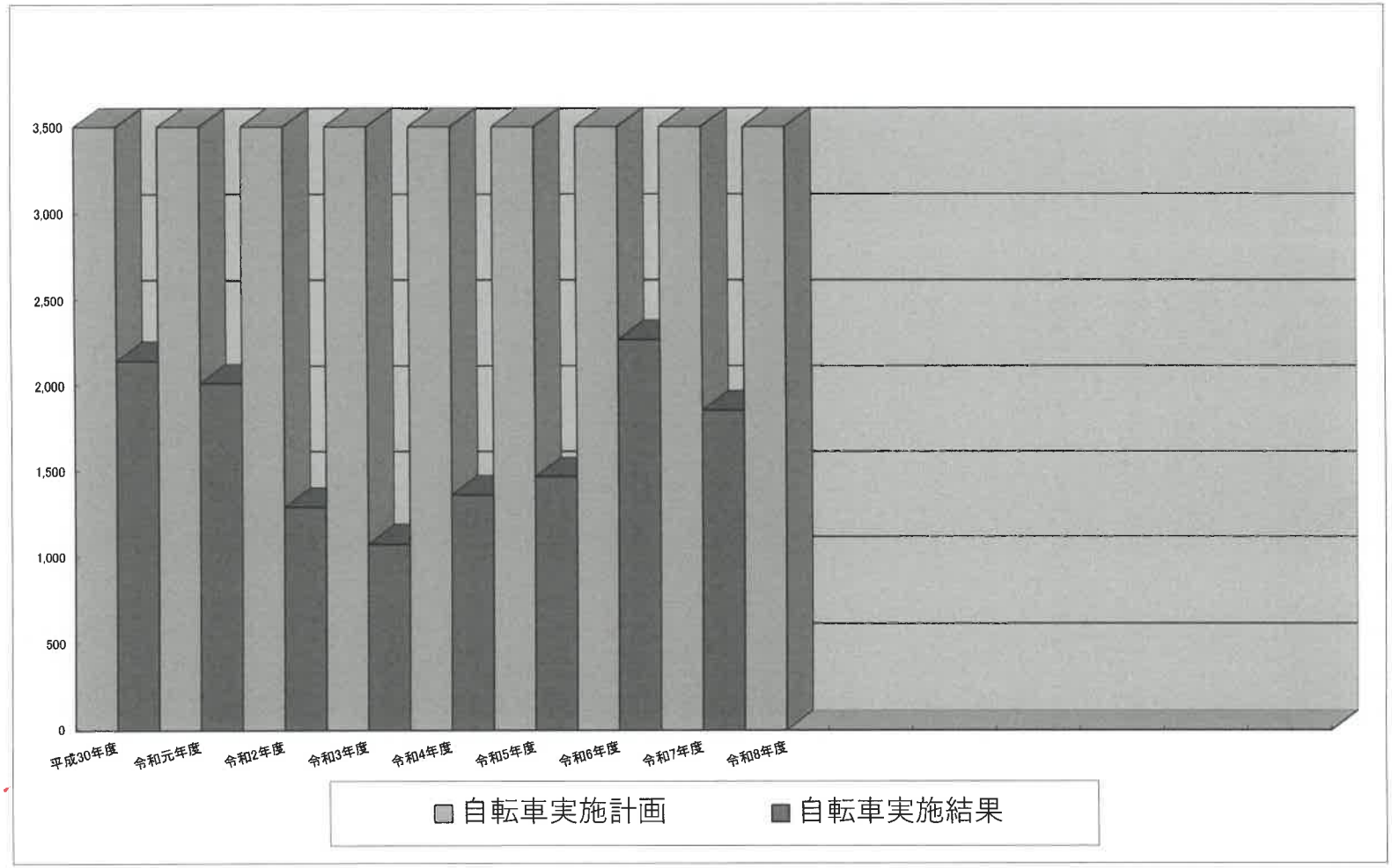
年度別	キャンプ実施計画	キャンプ実施結果
平成30年度	4,800	4,951
令和元年度	4,800	5,600
令和2年度	4,800	5,796
令和3年度	4,800	5,739
令和4年度	4,800	6,268
令和5年度	4,800	6,923
令和6年度	4,800	7,004
令和7年度	4,800	6,057
令和8年度	4,800	
合計	43,200	48,338

指定管理期間		
年度	キャンプ実施計画	キャンプ実施結果
令和4年度	4,800	6,268
令和5年度	4,800	6,923
令和6年度	4,800	7,004
令和7年度	4,800	6,057
令和8年度	4,800	0
合計	24,000	26,252



年度別	自転車実施計画	自転車実施結果
平成30年度	3,500	2,143
令和元年度	3,500	2,011
令和2年度	3,500	1,285
令和3年度	3,500	1,070
令和4年度	3,500	1,357
令和5年度	3,500	1,463
令和6年度	3,500	2,265
令和7年度	3,500	1,854
令和8年度	3,500	
合計	31,500	13,448

指定管理期間		
年度	自転車実施計画	自転車実施結果
令和4年度	3500	1357
令和5年度	3500	1463
令和6年度	3500	2265
令和7年度	3500	1854
令和8年度	3500	0
合計	17,500	6,939



Ⅶスタッフ配置及び資質向上育成等

Ⅶスタッフの配置及び資質向上について

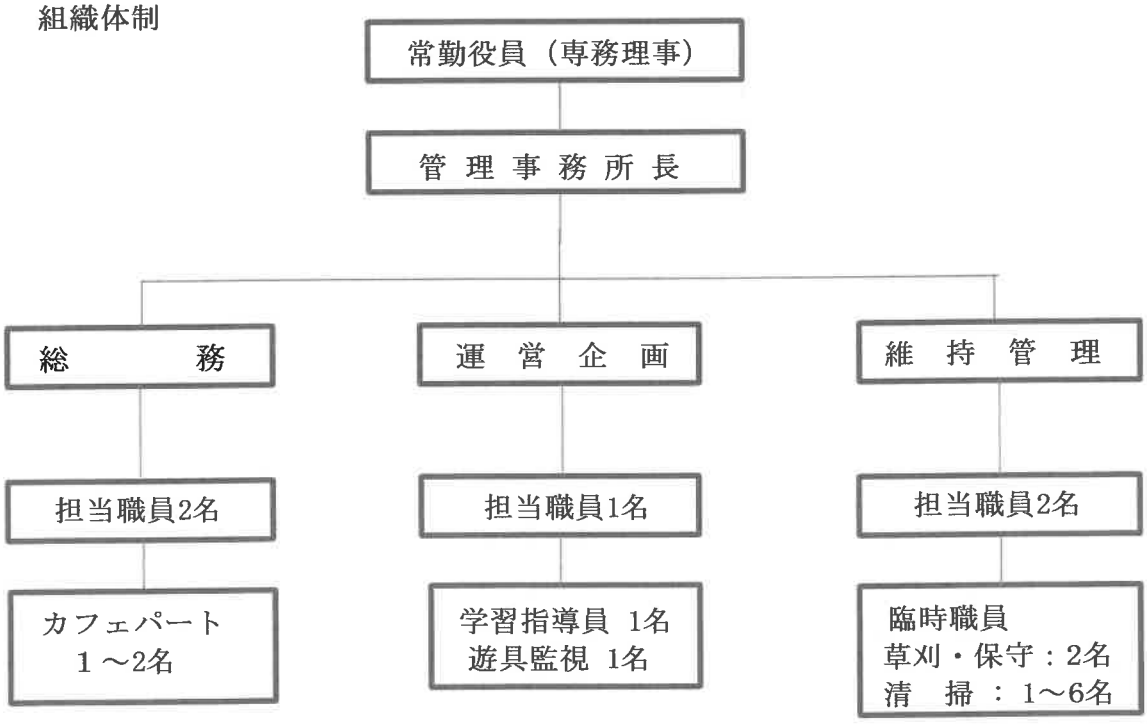
利用者が笑顔で楽しめる公園づくりを実現します。

・ゆとりとうるおいのある環境を提供し、公園を利用した多様な余暇の過ごし方を提案します。
・専門知識の習得など、研修への参加や普段の業務を通した業務の改善や接遇向上に取り組みます。
・利用者のニーズに迅速かつ丁寧にお応えします。
・利用者がお困りの際は、職員がサポートします。
・園内の安全確保や事故防止に努めます。

1. スタッフ体制

①	効率的・効果的運営を不断に検討し、最小の人員で最大の効果を目指しました。
②	管理事務所は、常勤役員以下8名でシフトを組み、平日5人以上、土日祝祭日は6人以上配置しました。
③	園内の快適な環境を維持するため、草刈、花壇管理、施設・設備の維持管理として職員2名、臨時職員2名を配置しました。
④	清掃職員は、ビジターセンター清掃として毎日1名を雇用し、夏場の宿泊系施設利用時は最大6名体制としました。
⑤	自然観察会などの指導や説明のため、学習指導員を雇用し、公園の大きな使命を果たしました。（管理事務所要員に含まれます。）
⑥	エコパカフェは、常時1～2名を配置しました。
⑦	ふわふわドームの安全利用を確保するため、土・日・祝日・夏休みに指導・監視員を配置し、適正な利用と安全を確保しました。

組織体制



2. お客様の安全と安心を最優先に考えます。

①	毎朝の朝礼で事故防止への留意点や業務確認、様々な情報を共有しました。
②	毎日、開園前、中間、閉園時の定期に職員は園内を巡回し、風倒木や動物の糞、危険物の除去を行いました。
③	野外遊具などについても、同様に稼働前・停止時の点検とともに、日中、随時見回りを行い、不具合などの監視を実施しました。
④	受付窓口に職員を常駐させ、遊具やレンタル用品の使用説明、立ち入り制限などの説明を行いました。
⑤	夏期間は、夜間も警備員が3回以上、園内を定期巡回し、安全確認を行いました。
⑥	立ち入り制限区域や危険個所には、利用ルールの看板や注意看板などを掲出し、危険行為の防止や立ち入り制限しました。
⑦	お客様の問い合わせや緊急事態に備え、夏期間は24時間要員を配置しました。

3. 職員の資質向上

①	役員が参加し、サービス向上や安全管理に関し、毎月職員全体会議を開催するほか、随時外部研修に参加させました。
②	技術、能力向上のため、自主研修を実施しました。
③	必要な資格取得のため、専門研修に参加させました。
④	情報の共有や１日の業務の確認、作業の進捗状況などの共有のため、毎朝朝礼を行いました。
⑤	繁忙期に人手が足りない場合は、業務範囲に拘わらず、応援体制をとりました。
⑥	コンプライアンスを徹底しました。

4. 専門職の配置について

専門職や技術資格者を配置します。

①	公園の大きな使命である「自然と人間の共生」の理念を伝えていくため、学習指導員を雇用し、自然観察会の指導や環境保全などについて指導しました。
②	園内の施設や設備・備品などの毀損に対応するため、重機運転や設備関係の資格者などを雇用し、極力、直営で修繕していきました。
③	自然観察、自然体験、アドベンチャーの指導者資格を有する職員を雇用しました。
④	自然観察や体験事業実施にあたり、専門知識を有するボランティアに協力をお願いしました。
⑤	防火管理者、食品衛生責任者を配置しました。

5. 安全かつ快適な利用環境の管理目標

達成目標		R4	R5	R6	R7	R8
安全性の確保（日常的な巡回・安全指導を効果的に実施し、利用者による事故発生件数を年間２件以下とする）　[目標値]	指標値	0件	0件	0件	0件	0件
		0件	0件	0件	0件	0件
職員の資質向上（安全管理・サービス向上のための研修を年２回以上を実施する。	指標値	２回	２回	２回	２回	２回
	有識者による研修	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上
	自主研修	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上	5回以上
	職場外研修	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上	1回以上

北海道立十勝エコロジーパーク管理事務所事務分掌

主たる事務分掌	担当	副担当
（管理事務所の総括）		
・管理事務所の総括に関すること	所　長	企画主事
・予算編成、決算に関すること	所　長	総務主任
・1市5町との連絡調整に関すること	所　長	企画主事
・北海道との連絡調整に関すること	所　長	総務主任
・都市公園法に基づく許認可に関すること	所　長	企画主事
・監督規則、寄附行為、協定書に基づく報告・定期提出文書に関すること	所　長	総務主任
・防犯・安全管理及び事故処理に関すること	所　長	企画主事
・苦情処理に関すること	所　長	企画主事
（庶務・経理・窓口管理業務）		
・庶務経理に関すること	総務主任	総務主事
・現金の取扱に関すること	総務主任	総務主事
・窓口業務に関すること	総務主任	総務主事
・労働安全衛生に関すること	所　長	総務主任
・官公署等への報告・書類提出に関すること	所　長	総務主任
・視察者の対応に関すること	所　長	企画主事
（運営管理事務・事業企画）		
・施設の保守管理・点検に関すること	業務主任	業務主事
・利用促進及び自主企画事業に関すること	企画主事	所　長
・十勝川温泉及び関係団体との連携事業に関すること	企画主事	所　長
・公用車の管理に関すること	業務主任	企画主事
・防災訓練に関すること	企画主事	業務主任
・イベントの誘致及び受入に関すること	企画主事	所　長
・ボランティア等関係団体に関すること	学習指導員	企画主事
・夜間警備・夜間管理に関すること	所　長	企画主事
（維持管理業務）		
・緑地帯、周辺施設・設備の維持管理に関すること	業務主任	業務主事
（学習活動事業）		
・自然観察会、体験活動事業に関すること	学習指導員	企画主事
・学習資料の収集及び整備に関すること	学習指導員	企画主事
・調査研究及び普及啓発に関すること	学習指導員	企画主事

＊なお、上記の他業務全般を統括する常勤の役員1名を配置している。

Ⅷ過去２年間の業務履歴

Ⅷ過去２ヶ年の業務履歴及び安定した業務履歴

20 年間の実績を基に、さらなるゆとりとうるおいのある公園づくりを目指します。

● 実績を力に！

・21 年間のエコロジーパーク管理運営を通し、誰よりも公園の状況や内容、潜在力を熟知しており、これまで培ってきたノウハウや管理技術は、組織や職員に蓄積され、今後の管理運営に最大限に活かせ、効率的な運営に寄与することができます。
・十勝エコロジーパークを構成する幕別・池田の両公園、国の階段式及び水路式の魚道観察施設の管理委託などから、それぞれのエリアを有機的に結び付け、相乗効果を高めてきたところであり、今後も全エリアの一体管理が継続できます。

- **＊ 能力・技術を持った職員の継続雇用**
- **＊ 資質向上のための職員研修の実施**
- **＊ 専門的知識の習得のための研修会などへの参加**
- **＊ 職員間における日常的な業務情報、技術の伝承**

1. 過去２年間の業務履歴

①請負・受託業務等の実績

業　　務　　名	期　　間	具体的な業務内容
北海道立十勝エコロジーパーク指定管理業務	令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	道立十勝エコロジーパークの指定管理業務 発注元；北海道知事 指定管理料； R5年度　42,894,000円 R6年度　42,828,000円
幕別町河川緑地公園管理業務（エコロジーパーク幕別エリア）	令和5年4月8日から 令和5年11月30日まで 令和6年4月13日から 令和6年11月30日まで	発注者；幕別町長 芝刈、清掃　5.46ha R5年度　3,141,600円 R6年度　3,492,500円
池田町十勝エコロジーパーク管理委託業務（エコロジーパーク池田エリア）	令和5年4月29日から 令和5年10月31日まで 令和6年4月29日から 令和6年10月31日まで	発注者；池田町長 草刈、清掃、花壇手入れ　1.3ha R5年度　3,017,300円 R6年度　3,120,700円

十勝川河川緑地公園管理運営業務	令和5年4月29日から 令和5年11月30日まで 令和6年4月29日から 令和6年11月30日まで	帯広開発建設部、幕別町、池田町、財団の4者による協定書に基づく、河川緑地公園の管理運営（経費は財団負担） 階段式・水路式魚道観察施設や周辺の管理（施設の開閉、巡視・清掃） 管理橋ゲートの開閉 河川緑地公園内の清掃
自然観察会・体験会などの講師・説明員の派遣	令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	学校理科授業の出前講座 学校自然観察会・体験会の説明講師 町内会等の自然観察会・現地説明等

②自主事業

業　務　名	期　　間	具体的な業務内容
自然観察会・体験会、利用促進事業の実施など	令和5年4月1日から 令和6年3月31日まで	自然観察会19回・体験会18回　4,190人 自然体験学習受入19団体　773人 利用促進事業　14事業　32,481人 エールセンター水辺体験事業 243人 イベント誘致事業　5事業　5,959人 レンタル用品の貸出 スノーラフティング、カートによる公園めぐり等の実施 歳時記事業の実施
	令和6年4月1日から 令和7年3月31日まで	自然観察会15回・体験会14回　1,355人 自然体験学習受入24団体　923人 利用促進事業　15事業　33,944人 エールセンター水辺体験事業 243人 イベント誘致事業　5事業　19,545人 レンタル用品の貸出 スノーラフティング、カートによる公園めぐり等の実施 歳時記事業の実施
カフェ等の運営	令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	地場産品等の販売 十勝牛ソーセージ、十勝産牛乳のソフトクリーム、ココア、カフェラテなど 玩具、防虫剤など
飲料品等販売事業	令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	自動販売機の設置 お茶、清涼飲料水、コーヒー等
公園利便施設軽食堂運営事業	令和5年4月1日から 令和7年3月31日まで	食堂「エコ太郎」の運営 麺類、冷菓など

2. 財政基盤の確立

①	管理運営費の財源は、北海道の負担金及び利用料金収入を主なものとしました。
②	基本財産や基金の利子収入が見込まれないため、魚道観察施設や自主事業の自然体験、調査研究事業などに要する経費の一部は整備資金（砂利活資金　残高４千５百万円）を充当しました。
③	安定経営のため、魅力ある自主事業やカフェの運営などにより、利用料金や販売収入など、自主財源の確保を図り、安定した財政基盤の確立に努めました。
④	利用者サービスを低下させることなく、徹底した無駄、ムラの排除や事業の点検・見直しを不断に実行し、効率的運営と歳出の抑制により、収支の均衡を図りました。
⑤	なお、資金等が枯渇した場合、財団運営費や自主事業にかかる経費について１市３町（帯広市、音更町、幕別町、池田町）で負担することが、法人設立時に了承されていました。

具体的な対策

＊砂利活収益金（整備資金積立）の有効活用（令和７年３月末現在高　４千５百万円）
＊地産地消事業（カフェメニューの拡大、地域産品の販売事業）及び観光レクリエーション事業の積極的展開、新たな事業（健康づくり事業、ものづくり体験会など）の実施による収益の確保
＊利用料金、レンタル料金の検証による必要な見直し
＊「入りを量りて出ずるを制す」の徹底
＊河川特区等を活用した施設の有効活用による収益事業の展開

3. 環境に配慮したコスト縮減について

工夫や知恵により、コストの縮減と自主財源を確保します。

サービスの質を低下させることなく、工夫や知恵により効率的・効果的な管理運営を行い、コスト縮減と自主財源の確保を図ります。
職員は、「入と出」を意識したムダ、ムラなどをなくすため、事務事業・作業内容の見直しを不断に実施します。
また、サービスや物品の調達にあたっては、入札又は見積合わせなど複数業者による競争のメリットを働かせます。

4. 具体的な対応策

《光熱水費》

① 電気料金

◇園路灯は、季節に応じたきめ細かな時間設定をしました。
◇ビジターセンター前広場周辺の園路灯等は夜間閉門後に滅灯しました。
◇キャンプ場トイレ、コテッジゾーンの園路灯及びコテッジ棟の電源は、利用者がいない場合消灯するとともに、冬期間シャットダウンしました。
◇事務所室内温度は、冬期間 21 度以下、夏期間は 28 度以上とし、窓際照明は日中点灯しませんでした。
◇職員のいないスペースはこまめに消灯しました。
◇屋外遊具は、季節や天候により、効率的な運転を行いました。
◇照明の LED 化については、器具の更新時に検討しました。
◇パソコンは、長時間、席をはずす場合、電源を切りました。
◇自動ドアは、夏場、内側ドアを開扉状態にしました。
◇電力の安定供給とコスト削減を考慮し、新電力も活用しました。

② 上下水道料金

◇ 水と霧の遊び場の節水に努め、ろ過器の逆洗浄、塩素系薬剤の適正使用等により、水質の適正水準を維持し、水１回あたりの使用期間の延長に努めました。
◇ 冬期間使用しないコテッジ、キャンプ場の水道契約を休止し、基本料金の節約を図ります。

③ 燃 料 費

◇ 室内温度を、夏は 28 度Ｃ以上、冬期は 21 度Ｃ以下に設定し、冷暖房燃料の削減を図りました。
◇ 作業車や連絡車は、低燃費車を使用しました。
◇ 連絡車は、１回に複数の用務を処理するよう努めました。
◇ 夏はブラインドを活用しました。

《人件費及び労務費の縮減》

◇ 業務量を的確に把握し、適切な人員体制とし人件費の抑制に努めました。
◇ ローテション勤務や時差出勤により、最小人員の運営とし、時間外勤務を抑制しました。

● 利用者一人あたりの人件費縮減目標指標　　単位：円

	R4	R5	R6	R7	R8
利用者1人当たり目標指標	116.67	117.79	117.63	117.70	117.57
人件費総額	28,235千円	28,836千円	29,078千円	29,389千円	29,651千円
利用者見込	242,000人	244,800人	247,200人	249,700人	252,200人

＊目標指標算出方法：（各年度人件費）÷（各年度利用者見込数）＝ 指標

	第１四半期	第２四半期	第３四半期	第４四半期	合　計
利用者1人当たり目標指標	153.54	101.92	191.85	156.43	142.24
人件費総額	9,558,533	7,761,616	7,357,621	5,119,118	29,796,888
利用者	62,256人	76,152人	38,351人	32,724	209,483

● 設備の保守点検業務、修繕経費・警備など

◇ 専門家への委託による安全性の確保とともに、職員による日常的な保守点検を行ない、設備の損傷や劣化の早期発見など適正な管理を行いました。
◇ 軽微な修繕は、職員の資格、技術を活用し、自前の修繕に努めました。
◇ 委託業務は、可能なものは５年間の長期契約とし、委託料の減額に努めました。
◇ 夜間警備・管理業務、清掃業務は、直営方式としました。

● 十勝エコロジーパーク全エリアの一体管理による効率的な運営

◇ 道立公園以外の幕別町・池田町両都市公園、国の河川緑地公園、エールセンターなど、全エリア、全施設の一体管理により、人件費の削減等、コストの縮減を図りました。

● 植物管理経費について

◇ 芝生広場や草地面積が広く、夏期間の刈込は、来園者の安全確保から平日実施とし、芝生の性質別に刈込サイクルやゾーン分けし、計画的に実施しました。
◇ 雨天や大規模イベント開催など、計画的に実施できない場合があり、柔軟な対応が可能な作業員の雇用による直営方式としました。
◇ 刈込後処理について、人件費、燃料費、刈草（ゴミ）処理費等を縮減できる無集草刈込み（刈込み回数の増）により費用を縮減し、もって他の植物管理を行ないました。

集草なしの例（センター前広場　7,490 ㎡）

	集　草　あ　り	集　草　な　し
刈草運搬トラック	必　要	必要なし
人工数	フロントモア運転１名、運搬トラック運転１名、集草３名	フロントモア運転１名
燃料及び油脂類	フロントモア１台分 運搬トラック１台分	フロントモア１台分
刈草処理	廃棄経費あり	廃棄経費なし
その他	作業コストが高いと頻繁に刈ることができない	作業コストと人工数が低いので刈込頻度を上げられる

※なお、植物管理業務については、植物管理業務年間計画に詳細を記述

● 公園ボランティアの協力

◇ ボランティア等の協力を得た自然観察会・体験会などの指導・説明や、花壇整備・管理業務等において、ボランティアの方々の活躍の場を創出し、住民参加と経費節減を図りました

第１四半期　ボランティア数　　268 人
1030.5 時間×1,010 円（時間給）　＝　1,040,805 円
第２四半期　ボランティア数　　185 人
736.5 時間×1,010 円（時間給）　＝　743,865 円
第３四半期　ボランティア数　　108 人
562.5 時間×1,075 円（時間給）　＝　604,688 円
第４四半期　ボランティア数　　199 人
996.0 時間×1,075 円（時間給）　＝　1,070,700 円

●省エネ、リサイクル、環境への配慮

◇ 事務連絡車は、低燃費車を導入しました。
◇ 計画的にリサイクルマーケットを開催しました。
（各種イベント時にあわせ年５回程度開催）
第１四半期　5/3～5/6　第２四半期　7/19～7/21　8/9～8/11　9/13～9/15
第３四半期　10/11～10/13

● 契約事務

◇ 物品、保守点検、修繕事務などの契約にあたっては、少額であっても見積合わせや入札など競争性によるメリットを追求しました。

● 利用料金の収入確保

◇ 有料施設利用者の増加による収入確保のため、有料施設の利用促進 PR を行いました。

Ⅸ地域事業を踏まえた効果的な管理運営

Ⅸ地域事情を踏まえた効果的な管理運営について

地域とともにあゆみ、地域の発展を目指します。

「道立公園十勝エコロジーパーク」は、北海道を代表する観光地十勝川温泉に隣接し、陸、空交通の要衝である中心都市帯広市とも近接しています。
平成 23 年には北海道横断自動車道の十勝～道央間が全面開通、平成 28 年には十勝～釧路間が開通し、高速交通網が充実し、交流人口の拡大が進んでいる地域です。
また、北海道の尾根 大雪山を源流とする「サケ」が遡上する十勝川が流下し、十勝平野は日本を代表する穀倉地帯が広がるなど、川の文化や農業が盛んな地域性を有しています。
このように、十勝のほぼ中心に位置する地理的優位性や交通アクセス性、観光地十勝川温泉との隣接など優れた立地性とエコロジーパークの恵まれた自然環境を生かした「豊かな自然」との「触れ合い」、「学び」、「遊ぶ」自然環境育成型の公園として、広く周知し、多様なニーズに対応した公園づくりを目指します。
また、十勝川温泉宿泊者などの観光・余暇活動の補完、さらには十勝の農業を背景とした安心安全な地場産品の発信など、地域の発展にも使命を果たしていきます。

1. 地域特性を踏まえた管理運営の考え方

◇ 道立公園、幕別・池田町緑地公園、河川緑地空間は、相互に補完し合いながら十勝エコロジーパーク全エリアの魅力を高めており、今後も一体管理による効率的管理運営に努めました。
◇ 観光地十勝川温泉に隣接する環境を活かし、温泉の宿泊機能や集客力と道立公園の自然環境、空間利用型のレクリエーション機能のコラボレーションにより、両者の機能を補完し、相乗効果を高めました。
◇ 十勝の豊富で安全安心な地場産品の消費拡大や管内の観光振興に向け、PR 活　動を行いました。

2. 組織・人材との連携の考え方

◇ 管内で活躍するアーティストと職員のネットワークを活かし、様々なジャンルの音楽イベントを開催しました。
◇ ボランティアの方々の協力を得て、自然観察・体験会の充実や公園の魅力付け事業を展開しました。（柳のトンネルづくり、花壇整備など）
◇ 公園近隣 1 市 5 町（帯広市、音更町、幕別町、池田町、豊頃町、浦幌町）と「1 市 5 町連絡協議会」を設置し、予算編成はじめ、運営、事業実施にあたり意見聴取や意見交換など、緊密な連携を図るとともにイベントなどへの協力や公園利用の促進などの支援を得ていきました。

3. 広域利用の促進

◇ 幼児童教育や小中学校の課外活動プログラム及び自然体験型プログラムの　提供と受入れのほか、環境教育などの出前講座の講師に学習指導員を派遣しました。
◇ エールセンター所有の資機材を活用した水辺の体験活動を実施しました。
◇ 自治体広報紙によるイベントや公園紹介等の周知により、管内住民の利用促進を図りました。
◇ 管内の自然体験館、児童館などと連携した体験学習事業を展開しました。
◇ 十勝 19 市町村と連携した観光・物産の発信および自治体広報紙や観光パンフレットの配布などを行いました。

4. 地域の活性化のため、地域の団体などと連携強化

◇ 隣接する十勝川温泉旅館組合、十勝川温泉観光協会、十勝川ネイチャーセンター等との連携した事業を実施しました。

・キャンプ場及びコテッジ利用者に対する十勝川温泉日帰り入浴割引券の発行
・温泉宿泊高校修学旅行生への野外体験メニューの提供
・温泉宿泊海外観光客体験プログラムの受け入れ
・モール温泉号運行による温泉宿泊者の受け入れ

◇ 観光レクリエーション、地産地消事業を実施しました。

・軽飲食店「エコ太郎」の設置
・蕎麦まつりイベント
　（十勝管内のそばづくり同好会による手打ちそばの提供）
・十勝産品を使用した食品や産品の販売
・十勝 19 市町村と連携した観光・物産の発信および自治体広報紙や観光パンフレットの配布
・十勝の冬を体感する事業などによる海外観光客の誘致。（スノーラフティング、ソリすべり）
・スノーラフティングツアーによる冬の公園体験の実施
（有料運行の他、十勝管内幼稚園（保育園）や小学低学年児の無料招待試乗会の実施）
・クロスカントリースキーコースやソリ滑りコースの整備

◇ 定期路線バスの公園内乗り入れ

X企画事業

X企画事業について
一年を通して学び、遊べる公園づくりをすすめます。

豊かな自然と広大な敷地に恵まれた公園に生息する動植物を教材に、子どもたちが自然に親しみ、自然に学びながら「知恵」や「生きる力」を養うフィールドとして、また、四季の特性を生かした人々の余暇活動や観光レクリエーションの拠点として一層の充実を目指します。
また、安心安全な農産物や地域産品など食大国十勝を支援する「食」イベントやPR、海外観光客に対する雪や寒さを活用した冬の体験プログラムの提供などを行ない、エコロジーパークと「十勝」の知名度を高めて行きます。

● 多様な余暇ニーズを満たす自主事業を展開しました。

安心安全な施設の維持管理と利用者ニーズに沿った様々な自主事業を実施し、地域の皆さんの余暇活動や健康づくりなどを応援していきました。
年間20万人を超える来園者の皆様が、リピーターとなって、ご利用いただけるよう、今後もご意見を真摯に受け止め、一層の魅力ある自主事業を展開していきました。

1. 主な自主事業の提案

■ ボランティアや地域の協力を得ました
多様な自主事業の実施のため、多くの識者や腕に覚えのある方々の協力を得て、幅広く奥深い事業を展開していきました。

①	活動実績が浸透・評価され、自然観察活動や体験会のニーズが高まってきていますので、専門知識を有するボランティアの協力を得て観察会・体験会を充実しました。
②	地域で活躍するアーティストの協力をいただき、エコロジーパーク内での音楽イベントを拡大し、幅広い年齢層に楽しんでいただきました。
③	ボランティアによる景観形成をすすめました。
④	1市5町との連携強化によるイベントを誘致しました。
⑤	ビジターセンターに「意見箱」を設置するとともに、アンケート調査により、利用者の意見やニーズを把握し、利用者ニーズに沿った運営を行いました。

■ 自然観察・体験事業・自然環境の普及
自然環境を通して、自然に触れ、観察による「知る」「学ぶ」機会を提供しました。

①	動物や昆虫、植物に外来種が侵入し、生態系への影響が懸念されており、自然観察会等を通して、環境保全思想の普及を図っていきました。
②	自然観察会・体験事業を年間20回以上実施しました。
③	ギャラリーに「四季のエコロジーパークの自然」を展示しました。
④	動物園や帯広市百年記念館の協力を得て、動物とのふれあいや、動物のはく製を展示しました。
⑤	園内に営巣しているタンチョウの保護活動を進めました。

■ アクティビティや健康づくり

広大な敷地や施設を多目的に利用し、誰もが自然を楽しみ、体力や健康の維持・増進活動を支援しました。

《夏期間》

①	オートカートの運行による園内散策
②	各種自転車(MTB・タンデム等)のレンタル
③	フットパスの開催
④	大池を活用したカヌー試乗体験（十勝川温泉観光協会との連携事業）
⑤	大池を活用した水辺の遊園地体験（エールセンターとの連携事業）
⑥	竹馬、ハンモック、ストライクビンゴなど

《冬期間》

①	スノーラフトの運行と保育園児などの無料試乗体験
②	チューブそりすべりや氷でできた滑り台体験
③	歩くスキーコースの整備と講習会の開催、歩くスキーのレンタル
④	スノーシューによる自然探索やウォーキング

■ 観光レクリエーション事業・地産地消事業

非日常空間として、夏・冬を通して利用していただくため、地域の資源や景観などともに、各種観光関連団体と連携した取り組みを進めました。

①	エコパ蕎麦まつりの実施
②	カフェの充実（地場産品の使用）
③	十勝川温泉旅館協同組合との連携
④	歳時記イベントを年 10 回以上開催（縁日、食の提供、音楽イベント、工作）
⑤	クラフト体験会の開催（折り紙、ペーパークラフト、園内の樹木や草花などを利用した飾り物つくり）
⑥	十勝産品の販売
⑦	熱気球体験（十勝川温泉観光協会との連携事業）
⑧	楽しく、わかりやすい園内マップの作成
⑨	海外観光客に日本の伝統文化を体験
⑩	紅葉や雪、霧氷など、四季の変化をＳＮＳ等にアップし、来園を促しました。

■ 子育てママの応援

育児ママの情報交流や乳幼児の集団遊びを応援しました。

①	木製遊具や絵本の充実、交流機会の拡大
②	育児雑誌などに施設紹介を掲載しました。

■ 各種イベントや研修などの誘致

①	音楽コンサートやスポーツ合宿、企業研修などの誘致
②	フラ体験会

■ レンタル用品の貸出・物品の販売

①	キャンプやバーベキュー、レクリエーション活動に必要な備品類のレンタルや販売

■ 「道みんの日」

①	「道みんの日」には、デイキャンプ利用料を無料にしました。
②	北海道の名付け親、松浦武四郎のパネル展や松浦武四郎すごろくを活用し、北海道開拓記念事業を支援しました。

● 声を形に！

利用者からいただいたご意見やアンケート調査の分析を行い、利用者ニーズの実現を図っていきました。

2. 自主事業の管理目標

達成目標及び業績指標	基準値	指標値				
		R4	R5	R6	R7	R8
公園の利用促進のための自主事業の充実[年間開催事業数 50 事業以上]	50 事業	50 事業	50 事業	50 事業	50 事業	50 事業
目標値		50 事業以上	50 事業以上	50 事業以上	50 事業以上	50 事業以上

①自然観察会

	自然観察会				体験活動主催事業				自然体験学習等団体受入	
	予定	実施	予定	実施	予定	実施	予定	実施	学校・団体数	人
4 月	1 事業	1 事業	50 人	49 人	0 事業	0 事業	0 人	0 人	0 学校	0 人
									0 団体	0 人
5 月	2 事業	1 事業	30 人	7 人	1 事業	1 事業	10 人	5 人	0 学校	0 人
									1 団体	12 人
6 月	1 事業	1 事業	20 人	21 人	3 事業	2 事業	50 人	23 人	2 学校	24 人
									0 団体	0 人
第 1	4 事業	3 事業	100 人	77 人	4 事業	3 事業	60 人	28 人	2 学校	24 人
									1 団体	12 人
7 月	1 事業	1 事業	20 人	20 人	1 事業	1 事業	10 人	5 人	6 学校	206 人
									1 団体	41 人
8 月	2 事業	2 事業	35 人	38 人	2 事業	2 事業	100 人	64 人	5 学校	188 人
									1 団体	21 人
9 月	1 事業	1 事業	10 人	2 人	1 事業	1 事業	30 人	23 人	8 学校	392 人
									0 団体	0 人
第 2	4 事業	4 事業	65 人	60 人	4 事業	4 事業	140 人	92 人	19 学校	786 人
									2 団体	62 人
10 月	1 事業	1 事業	20 人	19 人	1 事業	1 事業	10 人	1 人	1 学校	22 人
									0 団体	0 人
11 月	1 事業	1 事業	20 人	14 人	1 事業	1 事業	20 人	3 人	0 学校	0 人
									0 団体	0 人
12 月	1 事業	1 事業	10 人	14 人	1 事業	1 事業	30 人	16 人	0 学校	0 人
									0 団体	0 人
第 3	3 事業	3 事業	50 人	47 人	3 事業	3 事業	60 人	20 人	1 学校	22 人
									0 団体	0 人
1 月	1 事業	1 事業	10 人	4 人	2 事業	2 事業	70 人	58 人	0 学校	0 人
									0 団体	0 人
2 月	1 事業	1 事業	20 人	2 人	1 事業	1 事業	40 人	24 人	0 学校	0 人
									1 団体	10 人
3 月	0 事業	0 事業	0 人	0 人	0 事業	0 事業	0 人	0 人	0 学校	0 人
									0 団体	0 人
第 4	2 事業	2 事業	30 人	6 人	3 事業	3 事業	110 人	82 人	0 学校	0 人
									1 団体	10 人
合計	13 事業	12 事業	245 人	190 人	14 事業	13 事業	370 人	222 人	22 学校	832 人
									4 団体	84 人

3. 自主事業予定一覧表

① 自然観察会主催事業（令和７年度予定事業）

番号	事業名	開催月	行事内容	予定人数	参加人数
1	サケの稚魚を放流しよう	４月	サケ稚魚放流体験	50	49
2	大池で遊ぼう　※ 雨天中止	５月	大池で釣り体験	15	0
3	春だ畑に種をまこう	５月	畑種まき体験	15	7
4	ザリガニを観察しよう	６月	大池でザリガニ観察体験	20	21
5	ザリガニを観察しよう	７月	大池でザリガニ観察体験	20	20
6	ザリガニを観察しよう	８月	大池でザリガニ観察体験	20	16
7	大池で遊ぼう	８月	大池で釣り体験	15	22
8	ととろーどをめざそう	９月	魚道観察室まで歩く	10	2
9	やきいもおいしいぞ	10 月	落ち葉を集めて焼き芋	20	19
10	シロザケをしりたい	11 月	サケの採卵、解剖体験	20	14
11	しめ縄作りに挑戦	12 月	正月飾りのしめ縄の作成体験	10	14
12	サンポカフェ	１月	スノーシューを履いて雪原を散歩	10	4
13	足あと見つけよう	２月	スノーシューを履いて雪原を散歩	20	2

② 体験活動主催事業（令和７年度予定事業）

番号	事業名	開催月	行事内容	予定人数	参加人数
1	春のキャンプ	５月	１泊２日のキャンプ	10	5
2	ピザづくり体験	６月	ピザづくり	10	0
3	十勝川温泉フットパスウォーキング	６月	公園周辺でフットパスウォーキング	10	3
4	青空フラ	６月	芝生の上でフラ	30	20
5	夏のキャンプ	７月	１泊２日のキャンプ	10	5
6	夏のクラフトづくり	８月	夏休み工作つくり	50	30
7	とかちの木で木工教室	８月	管内林業グループ企画による木工品作成	50	34
8	防災体験をしよう	９月	防災の日に因んだ体験イベント	30	23
9	災害時の簡単ご飯炊き	９月	炊飯体験	実施せず	実施せず
10	秋のキャンプ	10 月	１泊２日のキャンプ	10	1
11	野外でおやつを作ろう	11 月	火を使ったおやつつくり	20	3
12	エコパもちつき会	12 月	年末もちつき大会	30	16
13	冬のクラフトづくり	１月	冬休み工作つくり	60	50
14	冬のキャンプ	１月	１泊２日のキャンプ	10	8
15	雪だるまコンテスト	２月	親子で雪だるまつくり	40	24
16	ひな祭り会	３月	ひな祭り工作	工作実施せず	工作実施せず

③ 自然体験学習の受け入れ（令和７年度予定事業）

幼稚園、保育園、小学校、中学校や各種団体の自然体験・観察学習の受け入れ
年間 30 団体以上

④ 利用促進、地産地消、観光レクリエーション事業例（令和７年度予定事業）

事　業　名	開催月	行　事　内　容
レンタル事業	夏季間	自転車、カート DE 公園めぐり、キャンプ用品など
レンタル事業	冬季間	スノーチューブ、歩くスキー、スノーシュー、スノーラフティング森林ツアーなど
歳時記イベント	年 12 回以上	コンサート、夏至・冬至、七夕、冬まつり、豆まき会、ひな祭りなど
夏期開園オープニングイベント	４月	ボランティアによる園内清掃等
エコパそばまつり	６回	管内そば同好会による手打ちそば
リサイクルフリーマーケット	５回	フリーマーケット
クニさん歌の広場	12 回	クニ河内氏による音楽イベント
ふわふわキッズランド 2025	６月	大型ふわふわ遊具によるアトラクション
水辺の遊園地	７・８月	エールセンターとの連携事業
キッズドリームパーク in エコパ	９月	日本自動車連盟（JAF）主催のイベント
エコパサウンドピクニック	９月	音楽イベント
アシリチェプノミ	９月	実行委員会によるアイヌ伝統行事
夏期営業終了感謝祭	11 月	バンド演奏、体験会、食の提供、無料自転車レンタルなど
ウィンターフェス in エコパ	1～3 月	冬季間の利用促進事業
エコパ冬まつり	２月	家族で楽しめるイベント
エコパ絵画・写真展	２月	エコパの絵画・写真展と作品展示会
カフェの運営	通年	地場の素材を使った調理品など フランクフルト、ソフトクリーム、ポテトフライ、山幸ソフト、エコパフェなど

XI管理に係る業務の経理状況等

年間収支の月別計画に関する事項(計画)

令和7年度

道立公園

収入

（単位：円）

区　　分	予算額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	差額
事業収入	64,332,000	12,243,500	1,923,700	1,329,800	15,438,300	6,970,600	2,663,800	12,294,700	465,600	0	11,002,000	0	0	64,332,000	0
負担金収入	44,526,000	11,520,000	0	0	11,002,000	0	0	11,002,000	0	0	11,002,000	0	0	44,526,000	0
利用料収入	19,806,000	723,500	1,923,700	1,329,800	4,436,300	6,970,600	2,663,800	1,292,700	465,600		0	0	0	19,806,000	0
収入合計	64,332,000	12,243,500	1,923,700	1,329,800	15,438,300	6,970,600	2,663,800	12,294,700	465,600	0	11,002,000	0	0	64,332,000	0
収入累計	64,332,000	12,243,500	14,167,200	15,497,000	30,935,300	37,905,900	40,569,700	52,864,400	53,330,000	53,330,000	64,332,000	64,332,000	64,332,000		

支出

区　　分	予算額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	差額
事業費	64,332,000	4,843,724	4,762,200	5,978,537	5,031,842	5,798,813	4,583,781	3,754,533	7,536,058	5,999,374	3,694,187	3,834,819	8,514,132	64,332,000	0
人件費	29,389,000	1,923,848	2,381,336	3,645,420	2,821,803	3,384,484	2,759,984	2,295,266	1,626,471	3,873,899	1,554,753	1,555,743	1,565,993	29,389,000	0
管理費	34,943,000	2,919,876	2,380,864	2,333,117	2,210,039	2,414,329	1,823,797	1,459,267	5,909,587	2,125,475	2,139,434	2,279,076	6,948,139	34,943,000	0
燃料費	2,386,000	0	270,877	83,382	187,886	149,990	87,972	76,390	88,190	275,567	216,745	362,784	586,217	2,386,000	0
光熱水費	10,465,000	669,576	701,837	926,285	1,016,353	1,522,189	1,037,575	625,127	769,517	722,958	819,979	839,092	814,512	10,465,000	0
役務費	1,281,000	457,800	74,800	74,800	74,800	74,600	74,600	73,600	81,600	73,600	73,600	73,600	73,600	1,281,000	0
通信運搬費	641,000	53,000	54,000	54,000	54,000	54,000	54,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	53,000	641,000	0
手数料	248,000	20,800	20,800	20,800	20,800	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	20,600	248,000	0
保険料	392,000	384,000							8,000					392,000	0
委託料	8,979,000	114,500	530,850	446,150	340,000	76,550	105,150	165,650	3,401,780	534,850	510,610	485,100	2,267,810	8,979,000	0
植物管理	2,783,000								2,783,000					2,783,000	0
清掃業務	430,000												430,000	430,000	0
警備業務	724,000								120,600	120,600	120,600	120,600	241,600	724,000	0
保守点検業務	3,910,000	82,500	498,850	414,150	308,000	44,550	73,150	133,650	466,180	382,250	108,010	82,500	1,316,210	3,910,000	0
除雪業務	748,000										250,000	250,000	248,000	748,000	0
塵芥業務	132,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	11,000	132,000	0
会計業務	252,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	21,000	252,000	0
需用費	4,219,000	1,360,000	392,500	486,500	275,000	275,000	202,500	202,500	202,500	202,500	202,500	202,500	215,000	4,219,000	0
消耗品費	1,770,000	595,000	92,500	92,500	165,000	165,000	92,500	92,500	92,500	92,500	92,500	92,500	105,000	1,770,000	0
印刷製本費	315,000	315,000												315,000	0
修繕費	2,134,000	450,000	300,000	394,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	110,000	2,134,000	0
使用料及び賃借料	3,794,000	318,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	316,000	3,794,000	0
その他	94,000	0	94,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	94,000	0
旅費	94,000		94,000											94,000	0
公課費	3,050,000								1,050,000				2,000,000	3,050,000	0
退職給与引当金	675,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	675,000	675,000	0
合　計	64,332,000	4,843,724	4,762,200	5,978,537	5,031,842	5,798,813	4,583,781	3,754,533	7,536,058	5,999,374	3,694,187	3,834,819	8,514,132	64,332,000	0
支出累計	64,332,000	4,843,724	9,605,924	15,584,461	20,616,303	26,415,116	30,998,897	34,753,430	42,289,488	48,288,862	51,983,049	55,817,868	64,332,000		
収支差額 当月分		7,399,776	△ 2,838,500	△ 4,648,737	10,406,458	1,171,787	△ 1,919,981	8,540,167	△ 7,070,458	△ 5,999,374	7,307,813	△ 3,834,819	△ 8,514,132		
収支差額 累　計		7,399,776	4,561,276	△ 87,461	10,318,997	11,490,784	9,570,803	18,110,970	11,040,512	5,041,138	12,348,951	8,514,132	0		

年間収支の月別計画に関する事項(実施)

令和7年度

道立公園

収入

(単位:円)

区　　分	予算額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合　計	差額
事業収入	64,332,000	11,862,400	1,797,800	2,049,800	14,780,900	6,906,300	2,507,031	12,750,027	958,400	0	11,002,000	0	163,075	64,777,733	△ 445,733
負担金収入	44,526,000	11,520,000	0	0	11,002,000	0	0	11,002,000	0	0	11,002,000	0	0	44,526,000	0
利用料収入	19,806,000	342,400	1,793,800	2,048,800	3,777,900	6,902,300	2,500,500	1,654,400	958,400	0	0	0	0	19,978,500	△ 172,500
雑収入	0	0	4,000	1,000	1,000	4,000	6,531	93,627	0	0	0	0	163,075	273,233	△ 273,233
受取利息収入	0	0	0	0	0	0	6,531	2,179	0	0		0	14,016	22,726	△ 22,726
雑収入	0	0	4,000	1,000	1,000	4,000	0	91,448	0	0	0	0	149,059	250,507	△ 250,507
令和7年度　借入金収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0	0
収入合計	64,332,000	11,862,400	1,797,800	2,049,800	14,780,900	6,906,300	2,507,031	12,750,027	958,400	0	11,002,000	0	163,075	64,777,733	△ 445,733
収入累計	64,332,000	11,862,400	13,660,200	15,710,000	30,490,900	37,397,200	39,904,231	52,654,258	53,612,658	53,612,658	64,614,658	64,614,658	64,777,733		

支出

区　　分	予算額	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	差額
事業費	64,332,000	2,451,624	6,770,298	8,067,573	4,680,380	5,164,039	5,041,948	4,630,402	6,146,455	4,882,013	5,586,129	3,597,775	8,503,540	65,522,176	△ 1,190,176
人件費	29,389,000	1,647,586	2,645,461	5,265,486	2,610,002	2,732,663	2,418,951	2,381,060	1,674,155	3,302,406	1,664,647	1,573,280	1,881,191	29,796,888	△ 407,888
管理費	34,943,000	804,038	4,124,837	2,802,087	2,070,378	2,431,376	2,622,997	2,249,342	4,472,300	1,579,607	3,921,482	2,024,495	6,622,349	35,725,288	△ 782,288
燃料費	2,386,000	0	164,201	341,514	159,023	235,466	246,269	90,748	230,229	292,002	257,447	460,439	555,965	3,033,303	△ 647,303
光熱水費	10,465,000	766,706	766,066	845,557	1,097,048	1,285,151	1,284,780	909,431	727,325	698,806	772,150	792,679	635,270	10,580,969	△ 115,969
役務費	1,281,000	27,082	540,319	86,734	57,769	94,826	155,777	72,173	61,358	80,627	61,129	107,341	67,061	1,412,196	△ 131,196
通信運搬費	641,000	27,082	132,433	57,101	39,848	20,528	49,787	36,268	21,252	40,472	34,354	100,301	48,636	608,062	32,938
手数料	248,000	0	17,426	29,633	17,921	74,298	105,990	35,905	40,106	21,555	8,965	7,040	18,425	377,264	△ 129,264
保険料	392,000	0	390,460	0	0	0	0	0	0	18,600	17,810	0	0	426,870	△ 34,870
委託料	8,979,000	0	752,634	210,562	258,553	83,646	65,186	501,950	3,089,044	170,683	532,015	333,718	2,420,955	8,418,946	560,054
植物管理	2,783,000	0	0	0	0	0	0	0	2420000	0	0	0	0	2,420,000	363,000
清掃業務	430,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	430,000	430,000	0
警備業務	724,000	0	120,560	0	0	0	0	0	0	120560	120,560	120,560	241,120	723,360	640
保守点検業務	3,910,000	0	617,540	187000	232430	47300	17600	475200	649000	35,200	208,340	82,500	1,276,000	3,828,110	81,890
除雪業務	748,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	183150	101750	427,360	712,260	35,740
塵芥業務	132,000	0	3,974	13,002	15,563	25,786	37,026	16,190	9,484	4,363	2,805	18,348	1,815	148,356	△ 16,356
会計業務	252,000	0	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560	10,560	17,160	10,560	44,660	156,860	95,140
需用費	4,219,000	4,420	1,563,458	1,063,630	156,012	199,253	99,634	266,665	19,141	39,800	67,353	109,583	374,145	3,963,094	255,906
消耗品費	1,770,000	4,420	802,863	180,550	119,162	199,253	41,334	78,865	19,141	39,800	27,709	68,883	374,145	1,956,125	△ 186,125
印刷製本費	315,000	0	294,800	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	294,800	20,200
修繕費	2,134,000	0	465,795	883,080	36,850	0	58,300	187,800	0	0	39,644	40,700	0	1,712,169	421,831
使用料及び賃借料	3,794,000	5,830	308,159	254,090	341,973	533,034	771,351	403,075	345,203	264,249	216,988	220,735	422,053	4,086,740	△ 292,740
負担金	0	0	30,000	0	0	0	0	5,300	0	0	0	0	5,900	41,200	△ 41,200
その他	94,000	0	0	0	0	0	0	0	0	33,440	0	0	0	33,440	60,560
旅費	94,000	0	0	0	0	0	0	0	0	33,440	0	0	0	33,440	60,560
公課費	3,050,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,014,400	0	2,141,000	4,155,400	△ 1,105,400
退職給与引当金	675,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	675,000
備品購入支出	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和7年度返済金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	64,332,000	2,451,624	6,770,298	8,067,573	4,680,380	5,164,039	5,041,948	4,630,402	6,146,455	4,882,013	5,586,129	3,597,775	8,503,540	65,522,176	△ 1,190,176
支出累計	64,332,000	2,451,624	9,221,922	17,289,495	21,969,875	27,133,914	32,175,862	36,806,264	42,952,719	47,834,732	53,420,861	57,018,636	65,522,176		
収支差額 当月分		9,410,776	△ 4,972,498	△ 6,017,773	10,100,520	1,742,261	△ 2,534,917	8,119,625	△ 5,188,055	△ 4,882,013	5,415,871	△ 3,597,775	△ 8,340,465		
収支差額 累　計		9,410,776	4,438,278	△ 1,579,495	8,521,025	10,263,286	7,728,369	15,847,994	10,659,939	5,777,926	11,193,797	7,596,022	△ 744,443		